

議会報告 てくてく

皆様の声を市政にとどける くらしげ政樹

議会控室 (025-226-3450)

携 帯 (090-2479-5094)



日本共産党くらしげ政樹事務所

新潟市秋葉区田家2-2-19

(TEL/Fax 0250-22-1393)

8月は日本の平和を考える月…秋葉区戦没者 1795人

あの戦争は何だったのか

全世界で数千万、日本だけでも310万人、途方もない犠牲者を出した第2次世界大戦、あの戦争とはいったい何だったのでしょうか。

新潟市で、14,111人、秋葉区でも1,795(新津市1,459、小須戸町336)人と、日本のどの地域も戦争の被害から逃れることができませんでした。

国と国が自らの命運をかけてすすめる戦争に、ルールなどありません。毒ガス、細菌兵器、原爆、無差別都市爆撃攻撃…と、残虐な攻撃手段が次々と考案され、その矛先は戦闘員、非戦闘員の区別なく向けられます。

第2次世界大戦 新潟市戦没者

新潟市	6,523人	新津市	1,459人
白根市	1,141人	豊栄市	1,003人
亀田町	518人	小須戸町	336人
横越村	315人	巻町	859人
中之口村	270人	西川町	329人
岩室村	414人	潟東村	252人
黒崎村	355人	味方村	184人
月潟村	153人	合 計	14,111人

市報「いがた」2014年8月10日号より

戦争はいったん始めるとやめられない

無謀で勝ち目のない日米戦争に、当時の国の指導者はなぜ突入したのでしょうか。的確な判断ができない軍人や官僚が中枢を占め、新聞やラジオが戦争をあおり、教育がそれを支えました。

戦争を始めて半年後(1942年6月)のミッドウェー海戦で、6隻の空母のうち4隻を失い、日本海軍機動部隊は壊滅的惨敗を喫しました。この時点で敗北は決定的だったのに、ずるずると戦闘を続け、ついには、沖縄、広島、長崎へと悲劇が広がりました。

指導者は、自らの失敗が国民に知られるのを恐れ、真実を隠し、公表しません。戦争はいったん始めると、犠牲が極限に至るまで続けられてしまうのです。

戦争の惨禍を若い世代に伝え残そう

戦後71年、戦争の悲劇を知る人は少なくなりました。今、海外の戦場に自衛隊を送る法律ができました。このままでいくと「戦争という悲劇」が現実のものとなります。

戦争を知る世代は、「日本民族の悲劇」を若い世代に伝える責任があります。8月は、日本の平和を考える月です。平和憲法の素晴らしさを語り合う機会にしましょう。



小須戸了専寺 戦没者の墓標

選挙が終わると切り出すやり方は 許せない

社会保障大改悪 = めじろ押し

参議院選挙で、安倍首相は「アベノミクス」について、都合のよい数字を並べたてて、都合の悪い数字は隠し続けました。「保育の受け皿をつくる」とか「介護離職ゼロ」など、社会保障に力を入れるようなポーズをとり続けましたが、投票が終わった7月10日の夜、安倍首相は、「社会保障の伸びを抑えていく」と強調しました。(志位和夫委員長講演=8月5日)

その1 75歳以上病院窓口負担 = 2割を段階的導入

高齢者医療の窓口負担について、75歳以上について2割負担を段階的に導入する計画が進められています。

その2 介護保険 = 要支援1, 2を保険給付から外す

その3 = 要介護1, 2 (訪問介護、通所介護) を外す計画

その4 介護保険利用料 2割負担を導入

介護保険では、「要支援1・2」と認定された人の保険給付はずしに続いて、「要介護1・2」と認定された人の訪問介護や通所介護などを、保険給付からはずす法案を、来年の通常国会に提出する計画がもちあがっています。

「要支援1・2」と「要介護1・2」をあわせれば、介護保険加入者の65%を超えます。高い保険料を強制的に徴収しながら、65%以上の人から保険給付をとりあげるとするのは、文字通りの「国家的詐欺」の仕組みへの大変質というほかありません。

その5 生活保護の母子加算をなくする

生活保護の母子加算を、再び切り捨てようという血も涙もない計画が浮上しています。

茄子

くらしげ政樹

この夏、母の13回忌だった。母が他界してから父は単身で暮らすことになった。当時私は中央区で学習塾をやっており、一日おきに泊まりに来た。塾を終えて買い物などをすると22時近くになる。遅い夕食をとり、翌日は朝から父の食事の準備や洗濯。昼までに家事をすませ、あとはヘルパーさんに申し送りを書いた。

食事を準備する際、聞くと、「蒸かし茄子」が食

べたいという。記憶を頼りに茄子を蒸かしたが、どうもお気に召さない様子。食べたいはずの「蒸かし茄子」を食べさせてやれないまま父は他界してしまった。今、大きくなりすぎた水茄子をラップでくるんでレンジで「爆発」させ、ショウガ醤油で食している。茄子のトロツとしたあの感触が好きだったのかな、と「爆発茄子」を食べながら思ってしまう。

生活相談、ご希望の方は、ご連絡をください。携 帯 (090-2479-5094)
9月17日(土) 午前10時~くらしげ政樹事務所 (新潟市秋葉区田家2-2-19)

※必ず事前に連絡ください。当日、事務所にてお待ちいたします。相談料は無料です。